

恩師の遺志継承へ決意

野田元首相 藤井裕久氏を追悼

昨年7月に亡くなった藤井裕久元財務相の追悼講演会が20日夜、横浜市中区で開かれ、ともに酒を好み師弟関係あった立憲民主党最高顧問の野田佳彦元首相が登壇した。「恩師が一番強くこだわっていたのは平



恩師の藤井裕久氏を悼み、思い出を語る立憲民主党の野田佳彦氏

20日夜、横浜市中区

和、そして財政健全化だった」と振り返り、参加した国会議員や地方議員、市民ら約160人の前で藤井氏の遺志を継ぐ決意を新たに示した。

野田氏は、今月24日で丸1年がたつロシアによるウクライナ侵攻に触れ、ロシアのプーチン大統領に終結を迫るためには「日本がリーダーシップを取り、平和をつくり出していかねばならない」と強調。日本は先進7カ国（G7）議長国で国連安保理の非常任理事国である立場を生かし、世界各国が足並みをそろえた対ロシア経済制裁を行う必要性を訴えた。

故・安倍晋三元首相が進

めたアベノミクスの評価については、「大衆酒場でも頼むコップ酒」を例に言及。一升瓶でコップを置いた受け皿にこぼれるほど日本酒を注ぐ様子を表現しながら、アベノミクスでは大企業や富裕層から低所得者層に富がしたり落ちる「トリクルダウン」が起きなかったとの認識を示し、効果を疑問視した。

この日の追悼講演会は、藤井氏が2018年2月に設立し、会長に就任していた「自由民権会議@神奈川」（民権かながわ）などの共催。民権かながわ事務局長の斎藤勤氏は、今春の統一地方選後に民権かながわを地方議員主体の会議体が発展させ、新たなスタートを切る方向で検討すると明らかにした。

（三木 崇）